

## 「森と森の恵みを活かしたい！ その想いを”事業”にする現地検討会 in 北海道」

(Forest products／北海道)

### 事業の目的

"Forest Creative Women's School (略称：FCWS)"受講生を主な対象者として、「どうすれば森の恵みをもっとフルに活用できるか」の現地検討会(勉強会)を行った。参加者は生きた教材を元に、森林、ジビエ、特用林産物等、地域の森林資源だけではなく、歴史、観光資源をどのように活用し、活動・事業を興し持続可能に実行していくかを検討した。さらに、その学びを自らの地域での活動・事業展開に参考にすることを目的として実施した。

### 事業の内容

10/18 午後：Forest products 代表の所有林見学 (※雨天のため安全優先の実施内容)

10/18 夜：【ワーク】 見学体験事項のふりかえり・意見交換

10/19：林業作業体験→当該地域での先進事例である「仁木ヒルズ」の見学、

ネイチャートレッキングツアー、ジビエバーガー試食

【ワーク】「どうすれば森の恵みをもっとフルに活用できるか」の検討

(地域の果物・野菜・森の恵み等を活かした) リキュールファクトリー等見学

※ここまで FCWS ファシリテーター、アドバイザー等も参加

10/20：山林見学等

- ・ Forest products 代表の、自伐林家としての山づくりの試行錯誤や生きざまを見ていた  
だいた参加者の皆さんに学びがあったことが何よりの成果だった。
- ・ ワークではファシリテーターや運営補助者の意見もあり、地域に山も海もあり、都会  
から訪れる人が自然や林業体験を楽しめる森林ツアーができそう(資源利用も空間利  
用も可能性あり)、地域の他の事業者と組むこともできそう等、新しい角度の地域資源  
の活かし方のヒントを主催者自身も得られた。
- ・ ファシリテーターや運営含めて男性7名の参加者が「こんなに森林のことを真剣に考  
えている女性が全国にいるのか」と実感されていたことも「山で生きる女性への理解促  
進」として大きな成果と言える。

### 参加人数

女性7名 (+ファシリテーター運営補助者含めて男性7名)

## 活動の様子



所有林を見学する参加者たち



シラカバ樹液の採取方法解説



「仁木ヒルズ」ネイチャートレッキングツアー



1, 2日目のワーク（見学体験事項のふりかえり・意見交換、所有林の活用方法検討）

※写真左：ハイブリッド開催とし、全国のFCWS受講生（卒業生）も参加